

令和7年度 第3回 焼津市地域公共交通会議 会議録		開催	日時 令和8年1月27日（火） 14時00分～16時00分
		場所	市役所4階応接室
報告事項	ア 前回会議での意見について イ 豊田地区・東益津下根方地区デマンドタクシーの検討について ウ 焼津市公共交通計画における目標達成状況について		
協議事項	ア 令和8年度自主運行バス・デマンドタクシー運行計画（案）について イ 令和7年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（案）について ウ 令和8年度路線バス単独継続困難路線の対応について エ くるりん号の運行改善策について		
出席委員 15名	(公共交通会議) 飯塚会長 (焼津市) 藁科委員 (しずてつジャストライン(株)) 中村代理委員 (株)アンビ・ア) 中山委員 ((一社) 静岡県バス協会) 小泉委員 (静岡県タクシー協会志太榛原支部) 八木委員 (中部運輸局静岡運輸支局) 山田委員 (ジャストライン労働組合) 廣津代理委員 (静岡県交通基盤部) 本杉委員 (静岡県島田土木事務所) 大谷代理委員 (静岡県焼津警察署) 山名委員 (焼津市自治会連合会) 原川委員 (さわやかクラブやいづ連合会) 増田委員 (焼津市民生委員児童委員協議会) 三藤委員 (焼津市社会福祉協議会) 八木委員 (静岡福祉大学)		
欠席委員 0名			
オブザーバー	焼津市建設部長 白石 雅治		
傍聴者	0名		
議事内容			
会議の成立	委員15名のうち過半数である15名が出席しているため会議は成立する。		
報告事項	ア 前回会議での意見について 大井川焼津線における大井川地区のみの利用者に対してアンケートを行い、結果を報告した。 【質問・説明等】なし イ 豊田地区・東益津下根方地区デマンドタクシーの検討について 豊田地区、東益津下根方地区デマンドタクシーのアンケート結果について説明した。 【質問・説明等】 ○藁科委員：豊田地区のデマンドタクシーについて、杏林堂北側に静岡相良線や JR		

	<p>のハイウェイバスの東名焼津西のバス停があるため、停留所の候補として検討していただきたい。</p> <p>⇒事 務 局：いただいたご意見について、豊田地区の協議会で報告する。</p> <p>○小泉委員：デマンドタクシーの試験運行の時期はいつ頃から開始予定なのか。</p> <p>⇒事 務 局：具体的な時期は未定であるが、令和8年度に運行開始を目指している。</p> <p>○原川委員：豊田地区に住んでいるが、豊田地区のデマンドタクシーについて自治会や町内会にアピールする手段が不足しており、若者が興味・関心を持っていないと感じている。前回10月の公共交通会議後にも協議会は何回開催しているのか。</p> <p>⇒事 務 局：まず、豊田地区でデマンドタクシーの検討をしていることについて、地区の皆様への周知するため、かわら版を作成し、7月から8月に自治会経由で各組に回覧した。その周知後に、アンケートを自治会経由で8月から9月にかけて全戸配布し、9月に回答をいただいた。協議会は毎月1回開催し、明日1月28日も開催予定である。</p> <p>○八木委員：数点伺いたい。一点目は、豊田地区のデマンドタクシーの利用頻度の回答は、どれくらい利用したいのかという意味でいいのか。二点目は、東益津地区デマンドタクシーの停留所と路線バス焼津岡部線の停留所が重なっている箇所について、しずてつジャストラインと協議をしたのか。三点目は下根方地区のアンケートの「行き先」は利用したいバス停なのか。アンケートの集計では、質問も記載したほうが分かりやすいと感じた。</p> <p>⇒事 務 局：一点目の豊田地区のアンケートの利用頻度は、アンケート回答者が1ヶ月にどれくらい利用したいかという質問で、月に4回以上の方は週1回以上利用する方と考えられ、回答者の約46%である。二点目の東益津地区デマンドタクシーの停留所については、ある程度案が固まってからしずてつジャストライン様と協議する予定であったため、今後協議させていただく。三点目の下根方地区デマンドタクシーの「行き先」は、アンケートの回答者が希望する行き先を書いていただいたものである。今後は、アンケート結果については分かりやすく、質問文も記載するようにする。</p> <p>○本杉委員：東益津地区のアンケートについて、60代から80代の方の回答で全体の8割強を占めているが、このデマンドタクシーは高齢者や免許返納した方をターゲットにしているのか。また回答者のうち、デマンドタクシーを利用する可能性のある方が115人、59%いるが、アンケート結果から、どれくらいの利用者がいて、収支予測はどれくらいを見込んでいるか。また試験運行後もアンケートを行うのか。</p> <p>⇒事 務 局：まず過去の経過ですが、平成28年から29年にかけて、下根方地区で1年間試験運行を実施した。当時は、焼津市で初めてのデマンドタクシーの試みであり、目標の稼働率が30%のところ、15%であったことなどから本運行には至らなかった。現在は3地区でデマンドタクシーが運行されており、焼津市地域公共交通計画では下根方地区と豊田地区</p>
--	--

協議事項	<p>の一部が交通空白地域として位置付けられていることから、改めてデマンドタクシーを検討している。下根方地区は、試験運行から8年ほどが経過し、住民の方々も高齢化しており、アンケート回収率が72.3%、そのうちの約6割がデマンドタクシーを利用する可能性があるとの回答がある。また、前回の試験運行では、行き先が焼津駅のみであったが、アンケートでは普段の買物に困っているという意見があったことから、今回は、焼津駅に向かう途中の停留所を設けるように検討している。ただし、運転免許を約8割の方が持っており、自家用車の代わりの交通手段がないと免許の返納もできないという地域性もあり、実際にどれくらいの方が利用するかは、試験運行で確認していきたい。試験運行後も利用した感想などのアンケートを実施したいと考えている。</p> <p>ウ 焼津市公共交通計画における目標達成状況について 市内バス及びデマンドタクシーの利用者数、地域公共交通計画における目標達成状況について説明した。 【質問・説明等】なし</p> <p>ア 令和8年度自主運行バス・デマンドタクシー運行計画（案） 令和8年度自主運行バス・デマンドタクシー運行計画（案）について説明した。 【質問・説明等】なし</p> <p>【採択】 事務局案に賛成の方の挙手 ～賛成多数～ 事務局の提案通り決定する。</p> <p>イ 令和7年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（案） 焼津市自主運行バス大井川焼津線と大井川地区のデマンドタクシーについて事業評価を行い説明した。</p> <p>【質問・説明等】 ○八木委員：大井川地区デマンドタクシー運行事業における④事業評価の適切性がB評価となっているが、事業自体は計画通り実施されているため、⑤目標・効果達成状況はB評価であっても、事業評価はA評価が適切だと思う。 ⇒事務局：大井川地区デマンドタクシー運行事業における④事業評価の適切性をB評価からA評価に変更する。</p> <p>【採択】 事務局案に賛成の方の挙手 ～賛成多数～ 事務局の提案通り決定する。</p> <p>ウ 令和8年度路線バス単独継続困難路線の対応について 焼津市内で運行している路線バスについて路線バスの概要や市補助額の推移等説明した。</p>
------	--

【質問・説明等】

○本杉委員：地域間幹線系統の藤枝相良線の事業評価シートについて、収支率とネットワーク構成について採点方法を教えていただきたい。

⇒廣津代理委員：収支率の採点方法は 50%以上が 20 点、25%未満を 3 点、25%～50%未満については 3 点から収支率に応じて点数を加算していく。ネットワーク構成の評価基準は、鉄道等への乗換可能拠点数について、鉄道等で 1 箇所 2 点、その他バス停での結節で 1 箇所 1 点であるが、採点の合計 10 点以上でも上限が 10 点である。

【採択】

事務局案に賛成の方の挙手
～賛成多数～
事務局の提案通り決定する。

エ くるりん号の運行改善について

大井川地区のデマンドタクシーについて令和 6 年度時点の収支率と今後の改善検討案を説明した。

【質問・説明等】

くるりん号の運行改善策について
10/15 に開催した大井川分科会で議題にした、くるりん号の運行改善策や、そこで上がった意見について説明した。

【質問・説明等】

○三藤委員：大井川分科会での意見について、他市で収支率が改善した事例を調べてほしいと記載しているが、他市の事例は調べたのか。

⇒事務局：県内外のデマンドタクシーの事例を調査しているが、地域によって運行方法が異なっている。収支率が大きく改善した事例について引き続き調査・確認していく。

○小泉委員：くるりん号は自主運行バスの大井川西部循環線の廃止に伴い運行されたもので、ジャンボタクシーでの貸切運行として経費が高くなっている。大井川西部循環線よりは運行経費が安くなっているが、利用者と運賃収入が少ないため収支率が下がっている。また、大井川分科会では、事務局から他市のデマンドタクシーの運行状況について一覧表を配布していたため、本会でも配布をしていただきたい。地域によっては、1,500 円以上運賃をとっているところがあり、焼津市は 300 円でやっている。その点も考えていかなければならないと思う。一般タクシーで大井川地区のエリアを端から端まで利用する場合、以前は 2,000 円程度であったが、昨年 11 月に運賃改定を行い、現在は 3,000 円位かかると思う。物資や車両維持費もかかっている。お客様に多少ご負担いただく方法もあると思う。

	<p>○藁科委員：収支率は重要な指標ではあると思うが、指標の一つに過ぎないと思う。大島・三和地区のデマンドタクシーの収支率は14.7%だが、大井川地区の利用者は大島・三和地区の30倍位あるため、単純に収支率だけを比較するのは危険である。他県では、便数の減少、運賃収入の引き上げによって利用者が離れてしまい、デマンドタクシーの維持が困難となってしまう事例や、大幅なコストカットをした結果、タクシー事業者への報酬が十分に支払われず廃業となり、地域から移動手段の足がなくなってしまう事例もある。また、逆の事例では、他市ではデマンドタクシーの運行を無料で行っているところもあり、収支率は0%であるが、行政や市民が納得していれば成功事例となる。地域性によって違うため他地区と比べるのは意味がなく、焼津市で目指すべき収支率を定めて、それに近づけていくにはどうすればいいのかという議論がなされるとよいと思う。収支率改善案としてこの表にはないが、このデマンドタクシーを地域全体で支えるという考え方で、スポンサー的な企業や医療機関を募るとか、ネーミングライツなど運賃収入以外の雑収入を検討いただく方法もある。</p> <p>⇒会 長：ご意見を参考に次回以降も検討していく。</p> <p>○山名委員：大井川分科会の委員として会議に出席したが、大井川地区を西・東・南の3地区に分けて区域をまたいだ利用の場合に運賃が上がることはやむを得ないという意見について、まだ結論が出たわけではなく、例えば、西から東に行く場合、すぐ隣の区域でも値段が上がってしまうというのはおかしいのではないか、タクシーなので距離に応じた運賃設定はどうだろうかという意見もあったので、その点も検討していただきたい。</p> <p>⇒会 長：今後も引き続き検討していく。</p> <p>【採択】 次回以降も引き続き協議することについて賛成の方の挙手 ～賛成多数～ 次回、引き続き協議とする。</p>
閉会	予定していた議事が終了。